

平成22年春 大阪府産業功労者表彰に上野耕治氏(ウエノ株)



平成22年春 大阪府産業功労者表彰において、上野耕治氏(ウエノ株)代表取締役社長、当協同組合副理事長)がその栄誉に輝いた。

上野氏は、大阪府印刷材料同業会副理事長として、近畿印刷産業機材協同組合との合併を積極的に推進する中心的原動力となり、近畿における印刷サプライヤー団体の大同団結を成し遂げ

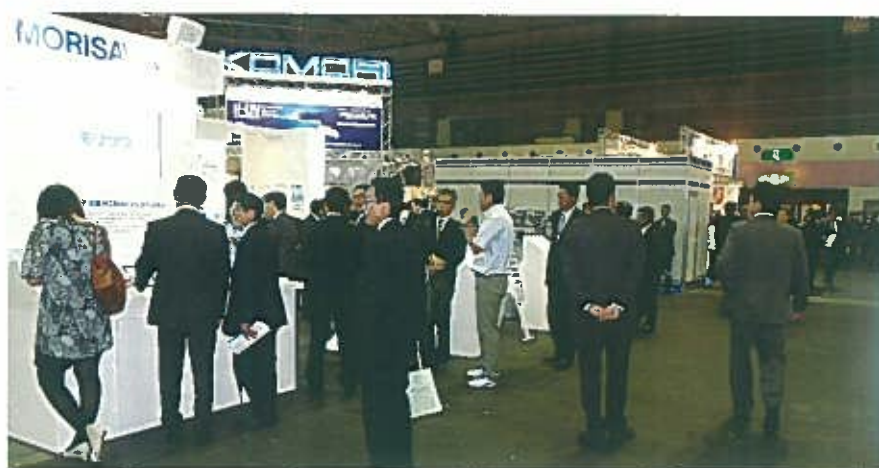
た。また、人材確保検討委員会の委員として積極的に活動し、とくに理事長不在時には検討委員会委員長代理として実行委員会を引っ張り、事業の普及に大いに貢献した。また、組合創立60周年にあたり行事担当副理事長として、組合役員会の意見の総まとめ役として活動。これら数々の貢献が認められ、このたびの受賞となった。

JP2010情報・印刷産業展 2万9,044人が来場

JP2010情報・印刷産業展は5月20日、インテックス大阪で開幕し、3日間の会期を盛況裡に閉幕した。来場者は2万9,044人。

「印刷の使命」をテーマに掲げた今回は、社会とつながる印刷技術の確かな価値を業界自身が再確認すると共に、社会に広く認識を促すことをコンセプトに開催。社会が求める印刷ニーズと印刷業界が保有するシーズの融合を実現する「場」を提供し、関西印刷業界の活性化に向けた起爆剤的な役割を果たす展示会となった。

開催初日の20日午前10時から開催された開会式には、業界関係者多数が出席。冒頭、主催者を代表して挨拶



に立ったJP産業展協会の南貴夫会長は、多数の参加者と出展社に感謝の意を示した上で「今回のJP2010が、低迷する印刷需要に新たなマーケットを

創造する、きっかけの場となることを期待したい。次世代情報産業を目指し、デジタル技術による次世代プリントの全貌を提示し、業界活性化を目指す」と同展示会に期待。

また、学生グループ「インセンス プロジェクト」との産学連携プロジェクトなど、今回のみどころの一部を紹介し「今後も明るく、楽しく、元気な関西印刷業界を目指したい」と述べた。

このあと、来賓を代表して近畿経済産業局産業部次長の伊藤哲朗氏より祝辞が述べられ、引き続き主催者代表と来賓代表によるテープカットが行われ、JP2010の開幕を告げた。

開場直後から会場内は多くの来場者で賑わいを見せ、文字通り関西印刷業界に元気を与える場となった。

なお、来年のJP展は2011年5月12日(木)～14日(土)に開催される予定。

世界最大のprint media messeである「drupa(国際総合印刷・メディア産業展)」は次回、2012年5月3日から16日までドイツ・デュッセルドルフで開催される。このたびその出展要項が決定し、出展募集が開始された。

50年以上にわたり成功を収めているdrupa、純然たる専門見本市として印刷業界、出版・メディア業界人にとって最も重要なプラットフォームとなっている。

drupa2012 出展募集を開始

申し込みの締め切りは今年10月31日

なお、主催者のメッセ・デュッセルドルフの日本代表部では、出展に関する様々なサービスを提供している。また、7月にはdrupa統括本部長のマクレ氏と担当課長のショルツが来日し、東京でプレゼンテーションを開催する予定。

【問い合わせ】

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

電話03-5210-9951 FAX03-5210-9959